

「サイレントシネマ・デイズ 2022」開催のお知らせ

2022年8月30日(火)－9月4日(日) 国立映画アーカイブ 小ホール

国立映画アーカイブでは、8月30日(火)より企画上映「サイレントシネマ・デイズ 2022」を開催いたします。

世界各地で開催されている無声映画祭と同様に、生演奏を付けて無声映画を上映する企画。今回はバラエティ豊かに、イタリア、ドイツ、イギリス、ソ連、中国、そして日本映画を揃え、6プログラム7作品上映します。とくに、ウクライナの映像詩人と謳われるオレクサンドル・ドヴジェンコ監督の初期作『愛の果実』は、今回新たに日本語字幕を作成し、当館初上映いたします。

見どころ

ウクライナの映像詩人 ドヴジェンコ監督の初期作『愛の果実』『ズヴェニゴラ』

ウクライナの映像詩人と謳われたドヴジェンコ監督の初期2作を上映します。初単独監督作『愛の果実』ではスラップスティック的な喜劇を繰り広げ、『ズヴェニゴラ』では、ウクライナに伝わる伝説とロシア革命の物語を大胆に織り交ぜ、空前絶後の個性的な演出で魅せています。あまりに独特すぎて、当時、ウクライナの映画担当の官僚は途方に暮れ、エイゼンシュテインに助言を求めました。その絶賛により、ドヴジェンコは一躍ソ連を代表する映画監督になったという逸話もあるほど。今もウクライナの国立映画センターに、オレクサンドル・ドヴジェンコ・ナショナル・センターとしてその名を冠しています。

ダイナミックな復讐劇『火山での決闘』

アメリカの大学に留学して映画製作を学んだ孫瑜(スン・ユイ)は、1930年代上海映画を牽引した代表的監督です。『火山での決闘』では、地主に一家を皆殺しにされた青年を主人公に、逃れた南洋の港町での踊り子とのロマンスから再会した敵との壮絶な戦いまで、ダイナミックな復讐劇が展開されます。アメリカ映画を彷彿とさせる、スリリングな酒場での乱闘シーンはじめ見どころ満載です。

モダンなラブ・コメディ『結婚適令記』

ハロルド・ロイド風な都会的喜劇俳優として売り出した杉狂児が主演した『結婚適令記』は、若き新聞記者が伯爵令嬢と先輩女性記者との間で右往左往する羽目になるモダンなラブ・コメディ。1930年代当時の社会風俗を織り込みながら、恋に仕事に奔走する青年像が描かれます。



『過去からの呼聲』



『ズヴェニゴラ』



『火山での決闘』



『結婚適令記』

上映作品(6プログラム、7作品) ♪=伴奏者(敬称略)

- 1:『過去からの呼聲』(1921年、イタリア、監督:ジェンナロ・リゲッリ) ♪:上屋安由美
- 2:『ファウスト』(1926年、ドイツ、監督:F・W・ムルナウ) ♪:神崎えり
- 3:『ロビンソン・クルーソー漂流記』(1927年、イギリス、監督:M・A・ウェザレル) ♪:田ノ岡三郎
- 4:『愛の果実』(1926年、ソ連、監督:オレクサンドル・ドヴジェンコ) ♪:鳥飼りょう
『ズヴェニゴラ』(1927年、ソ連、監督:オレクサンドル・ドヴジェンコ) ♪:鳥飼りょう
- 5:『火山での決闘』(1932年、中国、監督:孫瑜) ♪:湯浅ジョウイチ、丹原要
- 6:『結婚適令記』(1933年、日本、監督:青山三郎) ♪:柳下美恵

開催概要

企画名:サイレントシネマ・デイズ 2022

会期:2022年8月30日(火)－9月4日(日) 会場:国立映画アーカイブ 小ホール[地下1階]

HP:<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/silent202207/> 問合せ:050-5541-8600(ハローダイヤル)

チケット:8月23日(火)10:00から、当館HPより公式チケットサイトにて開映15分前までオンライン販売します。

詳細はHPをご確認ください。

〈通常回〉

一般:520円/高校・大学生・65歳以上:310円/小・中学生:100円/障害者(付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズ・未就学児:無料

〈伴奏付上映の回〉

一般:1,050円/高校・大学生・65歳以上:840円/小・中学生:600円/障害者(付添者は原則1名)・未就学児・優待:無料/キャンパスメンバーズ(教職員):500円/キャンパスメンバーズ(学生):400円

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室:横田・森宗) MAIL:pr@nfaj.go.jp TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830